

Torres Vedras

について



トーレス・ヴェドラス
トーレス・ヴェドラス (Torres

Vedras) には、先史時代やローマ時代にすでに人が住み着き、13世紀半ばに町の設立勅許状を受けました。

この地域の最も重要な宗教的記念碑の1つであるヴァラトージョ修道院 (Convento do Varatojo) は、北アフリカの征服を神に感謝するために、アフォンソ5世国王 (D. Afonso V) が1470年に建てたものです。

19世紀のナポレオン軍侵略のとき、トーレス・ヴェドラスは重要な役割を果たしました。というのも、フランス軍が撤退し、ナポレオンがヨーロッパにおける覇権を失うきっかけになったのはこの地だからです。事実、リスボンの周囲にいくつもの要塞からなる「トーレス・ヴェラドス・ライン (Linhas de Torres Vedras)」を構築したことにより、フランス軍のリスボン進攻を食い止めるという目的は達せられ、フランス軍を撤退させることができました。

周辺には、ゴルフコース、乗馬スクール、ホテル、プールなど、休日リゾートになくてはならない施設のそろった、サンタ・クルス (Santa Cruz) やポルト・ノヴォ (Porto Novo) といったビーチのほか、クコス (Cucos) やヴィメイロ (Vimeiro) の温泉は治療効果が高く、訪れる人々が絶えません。

この町のビッグイベントはなんといってもカーニバル。これはトーレス・ヴェドラスの伝統を堅持したお祭りです。寓話的なパレードや、飾り付けをした山車、巨大な祭り人形などが、カーニバルのリズムに合わせて行進し、まったく外国の影響を受けていないため、ポルトガルの中でも最もポルトガルらしいお祭りとして知られています。